

会報

No. **117**
令和2(2020).10.1

尼崎市立図書館開館100周年 みんなの図書館としての歩み

尼崎市立中央図書館館長 安福真理子

尼崎市立図書館の設置は、大正5年(1916年)の市制施行を記念して決定されました。大正9年(1920年)1月7日に尼崎市立通俗図書館の名称で開館し、翌年4月に尼崎市立図書館と改称、令和2年(2020年)に100周年を迎えました。

開館にあたっては、旧藩主桜井子爵家から建設費として2,500円と、秋岡亀太郎氏から宮町の邸宅が市に寄付されました。その邸宅を木造瓦葺2階建てに改装工事し、1階が図書館、2階は倶楽部として会合等に利用されたということです。



〈初代図書館 秋岡亀太郎邸(出典：尼崎市現勢史)〉

また、篤志家からの多数の申し出があり、計1,934円が図書館に寄付されました。郷土愛あふれた市民の行いが図書館建設を後押ししたことは、大変誇らしいことです。現在でも図書の充実のためにご寄付をいただく機会があり、図書館建設時の精神は現代にも受け継がれています。

その後、手狭になったり、戦争での建物疎開があったりと幾度も移転を繰り返しましたが、平成2年(1990年)、現在の位置(北城内)に「尼崎市立中央図書館」として移転しました。

現在は、昭和54年(1979年)に開館した「尼崎市立北図書館」との2館体制です。また、市内ではほかに、9か所の施設で図書サービスを行い、市民が、「誰でも、どこでも、どんな資料でも」利用できるように努めています。



〈現在の尼崎市立中央図書館〉

ここで、開館100周年事業として、実施した事業をいくつかご紹介します。

まずは、「貸出券ロゴマークデザイン募集」です。図書貸出券のデザインは、近松門左衛門をイメージしたマークを使用してきましたが、100周年を契機に新デザインを公募したところ、全国から77点のご応募がありました。利用者の皆様からの投票の結果、スタンドのもとで読書する人を「尼」の字を連想させるデザインで描いた可愛いロゴマークが誕生しました。

「記念式典」は、市民に普段ご利用いただいている開架室のブラウジングコーナーで執り行いました。式典では、日ごろ図書館で様々な形でボランティア活動をしていただいている団体の皆様に、教育長から感謝状をお渡ししました。長年のご協力に、改めて感謝の意を伝える良い機会となりました。

また、記念講演会に講師として尼崎市在住の作家・尼子騷兵衛先生にお越しいただきました。その際、お薦めいただいた本を図書館だよりで紹介させていただき、順次、尼崎ゆかりの方から本をご紹介いただく、「みんなのおすすめ本、数珠つなぎ」と題した企画をスタートすることができました。

式典が終了し、次の100年に向けて決意を新たにされた頃、このコロナ禍に突入。感染拡大防止のため休館した時期もあり、利用者の皆様にはご不便をおかけいたしました。休館中は、励ましのお手紙や開館を切望するお電話をいただき、図書館の存在が市民の身近にあることを改めて実感しました。

市民の図書館を受け継ぎさらに発展させるよう、職員一同努めてまいります。

図書館のお姉さん

伊丹市立図書館

おおたに ともこ
大谷 智子

図書館のお姉さんに憧れていました。低学年の時に家の近くに図書館ができ、兄や幼なじみ、クラスメイト達と児童室に通いました。カウンターのお姉さん二人と顔見知りになり、とてもやさしくて大好きでした。

司書資格を取得したものの、職員としての願いは叶わず、民間企業に十数年勤めた後、嘱託で採用していただきました。今から20年前です。

一般書、ジュニア(中学生向き)図書、YA(ヤングアダルト)図書を経て、現在は児童書を担当しています。児童書担当になって5年目、おはなし会に向けての絵本選びや事業の企画、ボランティアさんや学校司書の方に新刊書を紹介する準備等で毎日があっという間に過ぎていきますが、子どもたちの成長していく姿に月日の流れを感じています。

「お姉さん」と呼ばれる年齢ではもうないけれどカウンターにきてくれる子どもたちに自分の姿を重ねつつ、今後子どもたちが習い事や部活動等が理由で一時期図書館を離れることがあっても、また私のようにもどってきてくれることを願っています。

来ズラリ～

図書館と私

伊丹市立図書館

うえまつ じゅんこ
上松 純子

私がこの町の図書館で働きはじめて25年になります。四半世紀！自分でも驚いてしまいます。

家の近くにあった図書館へ私はよく出かけていきました。平日の午後や休日の朝など、静かで明るい閲覧室でいろいろな世界をのぞいて過ごす時間がとても好きでした。ですから「働く場」として考えたことはなかったのですが、ある時ふと、図書館で働いてみたい、と思ったのです。その時は実現するなんて思いもしませんでした。

幸せなことに、最初はアルバイトとして、後には非正規ながら司書として働けることになり、たくさんの仕事に携わらせていただきました。働きはじめた頃、長く勤めているベテランの先輩たちの仕事ぶり、迷いなく、自分たちがつくってきたコレクションを使いこなしている姿に、とても憧れました。年を経て当時の先輩たちの年頃になった今、思い描いていたような司書に少しでも近づけたのだろうかをよく考えます。

図書館も、図書館に求められるものも、ずいぶん変わってきました。それでも、図書館が変わらず「過ごしたい場所」であるようこれからも尽力していきたいと思います。

最悪だった図書館

尼崎市立中央図書館

まえだ あつお
前田 篤夫

私と図書館の出会い是最悪でした。約半世紀前、高校入試の勉強に友達数人と図書館に初めて行ったとき、理由もわからず職員から「お前らが来る所ではない」と追い返された事です。そもそも国語が苦手な本を読まない自分が、敷居の高い図書館に初めて足を踏み入れようとした時のことなので、今でも痛烈に記憶に残っています。それ以後、図書館のイメージは最悪のままでしたが、平成17年4月、何の因果か図書館サービスの要である北図書館奉仕係長として異動となりました。

当初は、先入観や常連利用者等からの洗礼もあって図書館が嫌で1日でも早い異動を願っていたもので、まさか定年をここで迎え、15年以上も勤める事になるとは夢にも思わなかったものです。今になっては、当時の職員の気持ちもわかる所もありますが、反面教師と肝に銘じて丁寧な対応に努めてきました。また、北図書館の指定管理者制度の導入を機会に改めて図書館のあり方などを勉強させていただく中で興味が湧き、好きになってきました。

自分の経験を活かし、市民にもっと図書館を認知していただき、気軽に利用していただける図書館を目指します。

想像力を駆使して

朝来市和田山図書館

ふじもと まこと
藤本 真琴

私の図書館勤務も、先輩、同僚、ボランティアスタッフの皆さんに支えられ、15年を数えました。しかしまだに、ふと思ひ知らされることがあります。それは、自らの想像力の乏しさです。例えば、行事のまとめ役を務めた時、起こりうる問題の想定を怠り、現場に混乱を招いてしまったことがありました。幸い、同僚の機転に救われ凌げましたが、事後に、大慌てで対処にあたる…そういうことがよくあったのです。改めてその失敗を振り返ると、大事なものが見えていなかったことに気づきました。それは、私の行動の先におられた利用者の気持ちです。もし自分が利用者なら何を思うだろう、どんな行動をとるだろうと想像ができていたら、準備万全で臨めていたに違いありません。

時の流れとともに、図書館も変化を求められる昨今、今年は新型コロナウイルスという難題にも直面しました。しかし、決して変わらないことがあります。それは、図書館サービスの先には、いつも「人」がいるということです。当たり前ゆえに忘れがちですが、想像力を駆使し、その人たちに思いを寄せながら、一歩先を見通したサービスを提供できるよう邁進したいと思います。

ひきつづき
来アラリ～

地域の情報拠点を狙って

伊丹市立図書館 さおもと みのり やまもと いつみ
 竿本 美紀、山本 逸美

伊丹市立図書館では平成30年度より「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールに取り組み、2度目の開催で「図書館を活用してほしいという想いと企業等の地域・社会貢献したいという想いが結びついた取組が新しい連携の形である」と評価を頂き、全国コンクールで「総務大臣賞」を受賞しました。

伊丹市立図書館で開催する意義を常に意識し、地域の人や施設と理解を深め合いながら取り組み、形となったことが評価され、大変嬉しく思います。開催してまだ2年ですが、この事業によって、関係した人や施設など、図書館を取り巻く環境に変化が起きたように思います。

具体的な取り組みとしては、まず、調べもののテーマをみつけるきっかけとして、地域の歴史文化に関する講演会を開き、地域への関心を拡げました。講演会等の際には、必ず講師にもテーマに沿った資料を紹介し、図書館資料の有用性をお伝えすることで、講師ともレファレンスなどの相互関係がより深まります。また、教諭や学校司書の研修会を図書館で開催し、学校教育部と協力体制を築いたことで、小学校への出張講座(コミュニティスクールと共催)や、トライやるウィークにおける講座が実現しました。そして、市内施設や学校、企業と協力して開催した科学実験と調べる学習を組み合わせた講座では、実験を通して得た気付きや疑問を探究へ繋げるという目的を、相手先と共有して開催しました。

このようにどの講座も事業も、図書館について理解を得て、相手の思いを理解して取り組むことが形となっています。これらの取組が、地域全体の新しい発展につながる新しい取組であると評価されたことは自信へと繋がりました。

「図書館はただのハコではなく、司書は窓口の機械ではない。」

図書館・司書の存在意義を司書内で議論するのではなく、自らが動くことで、その意義を利用者の方も含めた周囲が感じ、認めてもらうことが大切だと感じています。

今後も地域の図書館として、司書として、役割をゆっくりとでも確実に果たしていけるよう取り組んでまいります。

私と本とのかかわりのこと

川西市立中央図書館 わかばやし なおみ
 若林 直美

私が小学校に入った時、引っ越し先に歩いて5分もかからない、小学校の通学路の途中に新しい図書館がありました。小さい時から母が寝る前に本を読んでくれていたせいでしょか、『赤毛のアン』や『ドリトル先生航海記』、『二十四の瞳』、『若草物語』など図書館に通い夢中で読んでいました。

中学生になり、部活が忙しかったのと、昔はライトノベルなどなかった時代でしたので、児童書から突然大人の世界の本はハードルが高すぎてあまり図書館には足が向かなくなってしまいました。でも『嵐が丘』とか、『蜘蛛の糸』など当時から文庫本になっていた名作の数々は、「文庫本は子どもの本だ」と思っていた私の勝手な思い込みで読んでいました。

本を読んでないくせに、図書館で働く人になりたかった私は、司書という資格を取るために大学に通い、運よく就職できて、再び本と巡り合うことができました。今は自分のペースで読んでいますが、読みたい時に本を手にとれる環境はとても大事なのではないかと思います。コロナ禍の中、川西市では8月より電子図書館を始めましたが、読書の一つの形として進めていきたいと思っています。

川西市立中央図書館新キャラクター
トモチヤン、メグミくん

協会からのお知らせ

事業企画委員会(創立90周年記念事業)

9月2日(水)兵庫県立図書館にて事業企画委員会(創立90周年記念事業)を開催しました。

当協会は、令和3年度に創立90周年を迎えます。事業企画委員会では、創立90周年記念事業の事業候補や今後のスケジュール等について話し合いました。

各加盟館には、後日事業内容に関するアンケートを実施しますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

表彰者の紹介（敬称略）

永年精勤	前田 篤夫（尼崎）
	上松 純子（伊丹）
	大谷 智子（伊丹）
	若林 直美（川西）
	藤本 真琴（朝来）
業績顕著	竿本 美紀（伊丹）
	山本 逸美（伊丹）

令和2年度役員紹介（敬称略）

会 長	岡田由美子（県立）
副会長	井上 勝文（県立）
	岡田 宏二（神戸）
	北 裕幸（西宮）
	北野 充（姫路）
理 事	安福眞理子（尼崎）
	中塚 貴博（加古川）
	楠本 昌信（西脇）
	松田 清彦（福崎）
	樋口 裕昭（丹波篠山）
	谷 淵 朝子（新温泉）
	福田 龍八（南あわじ）
監 事	山下 裕司（議会）
	中田 正仁（伊丹）
	長谷川明子（稲美）

令和2年度予算

（単位：円）

〈一般会計〉	
事務局費	112,000
事業費	549,000
事業特別会計費	100,000
全公図分担金	42,000
予備費	228,965
〈兵庫県立図書館託送システムの運営経費 一部負担特別会計〉	
負担金	500,000
予備費	5,616

令和2年度 地区別研修会

- 神戸・阪神地区
「認知症についての理解と対応時における配慮のポイント」／川西市立中央図書館／10月17日（土）
- 東播磨地区
「図書館の基本を考えるーサービスと職員のあり方」／明石市生涯学習センター／10月29日（木）
- 西播磨地区
「公共図書館の児童サービス、乳幼児サービス」／太子町立文化会館／12月16日（水）
- 但馬・丹波地区
「まちライブラリーに学ぶ！ “つながる” 図書館」／丹波市立氷上住民センター／11月20日（金）
- 淡路地区
「来館者への接遇とクレーム対応」／洲本市立洲本図書館／9月10日（木）

令和2年度の大会・研究集会
（今後の予定）

- 第106回全国図書館大会和歌山大会
「図書館の歩みとこれからー南葵から新しい時代へ想いを繋げる」／11月20日（金）～30日（月）／オンライン録画配信を視聴（参加者に視聴用ID等を提供し視聴）
- 全国公共図書館研究集会
・サービス部門 総合・経営部門
「図書館とバリアフリー」／令和3年1月／YouTube大阪府立図書館公式チャンネルにて限定配信（事前申込制）
- 文科省・図書館地区別研修（近畿地区）
「すべての住民に図書館サービスを」(仮)／令和3年1月27日（水）～29日（金）／コラボしが21

兵庫県図書館協会会報 No.117
令和2（2020）年10月1日 発行
編集・発行：兵庫県図書館協会
〒673-8533 明石市明石公園1-27
兵庫県立図書館内
Tel 078-918-3366 Fax 078-918-2500